

か 軽井沢町長選挙公報

令和5年1月22日執行

軽井沢町選挙管理委員会

民間の目線 みんなの目線で 町を変える

45歳



しもだ しゅうへい
下田 しゅうへい

プロフィール
昭和52年8月19日 東京都大田区生まれ
麻布高校・東京大学文学部・東京大学大学院人文社会学系修了(中世イタリヤ史専攻)
大手建機メーカーのコマツで中国マーケティング責任者(23年1月退職予定)

高齢者の健康増進
75歳以上年間3万円タクシー券支給
カーリング、ゲートボール、ボッチャ等のスポーツ促進

観光インフラの整備
市内循環バスの増加
主要観光地での無料Wi-Fi拡充
外国人観光客へのマナー注意喚起

オーバーツーリズム対策
旅行シーズンを冬に分散(ウィンタースポーツの発展)
軽井沢以外の周辺観光地への誘導
迂回路や渋滞緩和システムの整備

国際保養文化都市を守る
景観法に規定される景観行政団体となることで、景観計画を定め、景観を害する建築や開発に対する罰則適用を可能に

新庁舎建設計画の根本的見直し
設計コンペをやり直してでも、他自治体並みの60億円に事業費を抑える(元の計画は百億円以上)
建設費を抑えるためには庁舎面積削減が必要
↓役場の業務や行政サービスのデジタル化を進める(脱ハンコ行政)

役場新庁舎の計画見直し「これならできる!!」

- 計画策定の経緯を住民に説明した上で、大きさ、使用頻度、来庁者の動線を現実的な観点から再検討
- 着実に減額する方向で基本設計を見直し。

今こそ!主役は町民!!

- 昭和42年(1967年)軽井沢町生まれ
- 家族/妻・娘(大学生)
- 野沢北高等学校~駒澤大学卒業
- 自営業(屋外広告士)
- 元軽井沢町消防団第2部々長
- 軽井沢町議会議員 2回当選(予算決算常任委員会委員長、自然保護審議会委員など歴任)

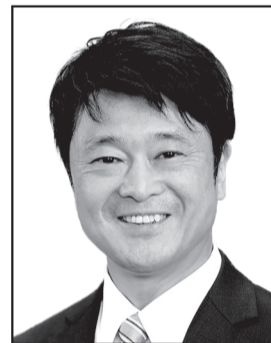


押金ようじch

軽井沢のこれまで~これからを結びつけ、新たな魅力をつくっていく、それは地域で長く活動してきたからこそできることです。

押金ようじの5つのチャレンジ!

- ① 町政の見える化で「なるほど!」
 - 広報とプロモーションの専門セクションを設置
 - 町政モニター制度の導入
 - まちづくりワークショップの定期開催
- ② 子育てで「イキイキ!」
 - 家庭環境がハンデにならない教育を推進
 - 保育等に携わる職員の職場環境や待遇の改善
- ③ 地域経済で「ワクワク!」
 - コロナ後を目指す事業リスタート・住民活動を支援するサポートセンター開設
 - 公共交通、渋滞対策は民間と連携し、自動化電化を推進
 - 地域の歴史文化を生かした長期滞在型リゾートへ
- ④ 福祉と医療で「安心!」
 - 高齢者の居場所づくりと生きがいゼミの開催
 - 発達障がい者の軽井沢型就労支援
- ⑤ 自然環境と景観の整備で「魅力アップ!」
 - 軽井沢植栽ガイドラインの策定
 - 景観行政団体への移行と景観条例制定
 - マンション等の大規模開発抑制に向け「特別用途地区」の検討



よし かね
よし かね
よ押 かね
うじ かね
55歳

投票日は 1月22日(日) です

投票時間は午前7時から午後7時まで

当日都合の悪い方は1月18日(水)から
1月21日(土)まで期日前投票ができます。

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。
なお、掲載の順序は、くじで定められたものです。(裏面もご覧ください。)



ふじまき すすむ
藤巻 進

G7外相会合を

成功させよう

軽井沢町制施行100周年を祝いさらなる100年へ

1 少子高齢社会に対応する 幸せ社会をつくる

- ・高齢者が生きがいを持てる世代間交流の推進
- ・信頼できる軽井沢病院の体制づくり

2 自立と多様性を尊重する 子どもたちの育成

- ・児童発達支援センターの開設
- ・町内小中高7校連携の推進

3 美しい景観づくりと コンパクトで住みやすい町

- ・緑豊かな街並み景観の整備
- ・軽井沢ブランドデザインの具現化

4 環境保全・防災施策・ 都市整備の推進

- ・浅間山噴火や豪雨災害等への対策拡充
- ・地球環境問題への積極的取り組み

5 新しい創造拠点としての 軽井沢ブランドの強化

- ・信州大学と東京大学先端研との連携
- ・DX推進(デジタル社会への対応)

6 足腰の強い産業形成

- ・滞在型リゾートの推進
- ・産業構造の多角化(軽井沢町に合った産業が進出しやすい環境づくり)

主な経歴

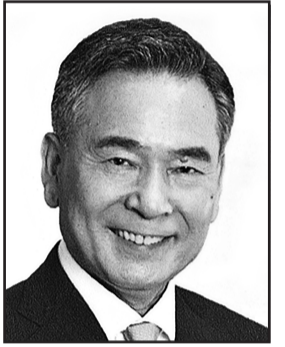
- 昭和26年2月17日生まれ
- ・軽井沢高原文庫理事長
- ・(社)軽井沢青年会議所理事長
- ・軽井沢町議会議員(三期)
- ・(社)軽井沢観光協会会長
- ・軽井沢町長(二期・三期・四期中途)

賞 罰

- ・日本建築学会賞(軽井沢の別荘建築の保存活動)受賞

変えたい! 声のとどく 信頼のまちへ

軽井沢町長候補《無所属》



○1957年 軽井沢町生まれ
○中部小学校・軽井沢中学校・
上田高校・早稲田大学商学部卒業
○ミネベア(株)英国・西ドイツ駐在
欧州財務責任者
○IT系上場会社、外資系企業数
社の取締役・代表取締役歴任
○(株)土屋経営企画代表取締役
○軽井沢文化協会前副会長

土屋みちお

1 100億円超の新庁舎等整備計画は 凍結して見直します

- ・現在の計画はいつたん凍結して、財源・内容・
時期について総合的に見直します
- ・住民の意見を重視してすすめます

2 自然環境とまちなみを守り、 破壊された自然の再生に取り組みます

- ・ソーンこの用途地域指定を見直し、自然保護対策
要綱の順守を徹底します
- ・軽井沢の植生にあった樹木を植える、自然環境の再
生計画をすすめます

3 誰もがぐらぐらしく、 定着するまちづくりをおこないます

- ・公共交通を整備し、子どもや高齢者も安心して移動
できるようにします。渋滞対策にも取り組みます
- ・地域と連携した医療体制を構築し、在宅医療・訪
問介護の整備をすすめます
- ・子ども・子育て支援事業を充実させ、子どもと保護
者を総合的に支援します
- ・小・中から高校までつながる、軽井沢の魅力を活か
した教育プログラムを導入します
- ・障がい者へのさまざまな支援を充実させます
- ・高齢者福祉のため「木もれ陽の里」の機能を充実させます

4 情報公開を徹底し、住民との信頼できる コミュニケーションを実現します

- ・情報担当の部署を設置し、SNSを言めた情報発信
を強化します
- ・情報を迅速に伝え、防災体制の整備をすすめます
- ・専門人材の登用やボランティア団体との連携で、町
と住民との協働をすすめます

5 滞在型の持続可能な文化都市へ転換し、 産業・農業の振興もすすめます

- ・道路・歩道・自転車道・フリーWiFiなどのインフ
ラを整備します
- ・広域連携を推進し、軽井沢を起点とした滞在型の観
光や長期保養ができるようにします
- ・軽井沢の特色に合ったスタートアップ企業を支援します
- ・遊休農地の滞在型貸農園への活用や、有機野菜のプ
ラント化などをすすめ、農地を保全します
- ・水源を確保し無駄のない使い方に改善します

◎有権者の皆さんへ感染対策のお願い

- ①投票所内ではマスクを着用してください。
- ②周りの方との距離を保ち、対面・会話などを避けてください。
- ③感染対策として、筆記用具(鉛筆またはシャープペンシル)を持参しても構いません。
(ボールペンはご遠慮ください。)
- ④帰宅後は、手洗いをしてください。

軽井沢町選挙管理委員会

お問い合わせ先:0267-45-8298